

特集 中古車輸出

25年、初の170万台突破

日本車人気なお根強く

5年連続のプラス

中古車輸出が成長期を迎えている。2025年の輸出台数は5年連続で前年を上回り、初めて170万台を超えた。品質が高く、耐久性も高い日本の中古車は世界中で人気だ。実際、輸出の規模は10年前の15年(125万4047台)と比べて1.36倍に拡大。同年比で輸出台数が10万台以上増えた仕向け地もあり、需要の高さを裏付ける。日本車を求めるユーザーは世界中にまだまだ存在するため、輸出の規模はさらに伸びそうだ。

日本中古車輸出業協同組合(JUMVEA)の佐藤博理事長がまとめた25年の輸出台数(車両価格20万円以上)は前年比9.1%増の170万8604台となり、これまでの過去最高だった24年(156万6621台)を大きく上回った。

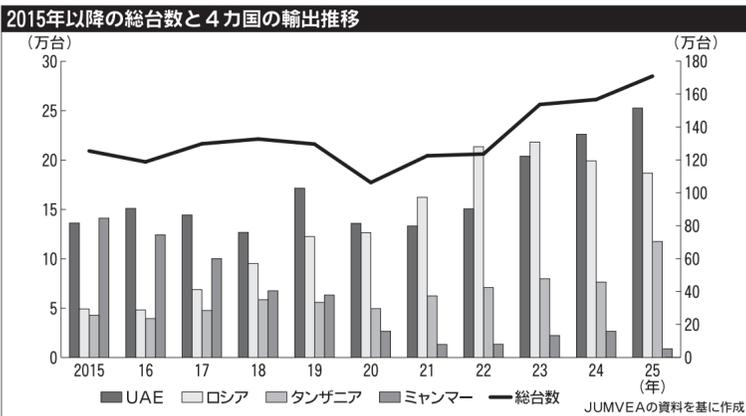
25年はアフリカや中東などでコロナ禍からの経済回復が進んだ仕向け地が目立った。この結果、中古車の需要も高まったとみられる。また、前年と比べて海上輸送が安定したことも輸出事業者にとって追い風となった。中古車輸出は10年代後半まで年間120万~130万台前後で推移していた。コロナ禍後、一時的に減少する時期もあったが、すぐに回復。23年以降は3年連続で過去最高を更新している。

この勢いを支えているのがアラブ首長国連邦(UAE)だ。15年の同国への輸出台数は13万6180台だった。一方、25年は前年比11.7%増の25万2637台にまで伸びた。これは15年比では85.5%増の規模で、台数ベースでは約11万6千台の増加。中東諸国での日本車需要の拡大に伴い、中継拠点である同国に集まる台数も上昇した格好だ。

25年は前年比6.3%減の18万6584台と前年を下回った。ただ、4万9142台だった15年と比べると14万台多い規模であり、同年比での増加台数はUAEを上回る。アフリカではタンザニアの躍進が目立つ。25年の台数は前年比53.8%増の11万7489台。15年(4万2752台)から約2.7倍に増え、この10年間で主要な輸出国の1つに成長した。



中古車輸出は成長領域だ



中古車輸出は現地の規制や法律の変更によって台数が左右される。ミャンマーはその典型例だ。今後もうこういった事例は発生するだろう。ただ、それらを大きく補える需要が各国に存在する。実際、「途上国を中心に日本車の伸びしろは大きい」と見立てる関係者は多い。中古車輸出の成長期はまだ続きそうだ。

自動車運航船大手のホークオートライナーズは今年創立40周年を迎える。日本では、新車や建機、中古車の輸出に注力してきた。引き続き、自動車の海上輸送大手として、サービスの拡充に努めていく方針だ。また、環境に配慮した取り組みも実施しており、国連のCO2ゼロ目標年の50年から10年前倒しし、40年にはCO2ゼロ目標を達成する見込みだ。



2026年春に投入する「ホークオートライナーズ」の「パシフィック」

ホークオートライナーズ 今春、フィーダー船をカリブ地域に投入

(フルウェー)は2026年春から、フィーダー船(小型RO-RO船)「ホーク・パシフィック」をカリブ地域に投入する。これにより、カリブ地域における同社のフィーダー船は2船となり、これまで以上に安定した輸送を実現する。フィーダー船は主要な港から2次輸送を行う小型のRO-RO船。ホーク・パシフィックは中国で新造した。今後、中国を出発し、日本に寄港してカリブ地域へ向かう。ガイアナやスリナム、コロンビア、パナマなどを結ぶ船として活躍が期待されている。

日本中古車輸出業協同組合(JUMVEA)

佐藤博理事長

途上国を中心に日本の中古車の人気が高まっている。25年の中古車輸出台数は、日本中古車輸出業協同組合(JUMVEA)の佐藤博理事長がまとめた2025年の輸出台数(車両価格20万円以上)は前年比9.1%増の170万8604台となり、これまでの過去最高を更新した。海上輸送の安定や輸出事業者にとって有利な円安



佐藤博理事長

状況を踏まえると、26年の輸出台数は前年比で5%程度伸びる見込みであり、それが輸出の伸びを支えている。1つといった日本車が入超えが視野に入りそうだ。輸出が堅調に伸びている

状況が多岐にわたる仕向け地で見込みであり、それが輸出の伸びを支えている。1つといった日本車が入超えが視野に入りそうだ。輸出が堅調に伸びている

「品質が高く、再販価値が高い日本車は世界中で人気だ。車がなければ、生活が成り立たない国も珍しくない。また、仕向け地はこれから経済が発展したり、人口が増えたりする地域も多い。国が豊かになれば、国民の所得も上がり、いまはまだ車が買えない層が新たな顧客となる。こういった

「26年の不安要素は「あまりない」と思っている。無難、個々の国々では情勢が悪化したり、規制が変わったりと対応すべき課題が出てくるだろう。地政学的なリスクも懸念事項だ。ただ、この20年間、中古車輸出はリーマンショックの時期を除いて成長を続けてきた。そういった世界的な経済の冷え込みが起きない限りは、26年も良い年になるだろう」

さらなる上振れ期待

「アフリカや中東の国々では今年も経済成長が続くだろう。これに伴い、日本車の需要も引き続き高そうだ。25年実績では、タンザニア(11万7489台)が前年比で約1.5倍に伸びた。同国はアフリカの内陸部に車を送る中継地点だ。周辺国のおお盛んな需要に支えられ、今年も躍進がつつとみられている。西アフリカ向けの輸出も伸びそうだ。昨年、自家用車の輸入禁止が解かれたスリランカも安定した需要が見込める」

アフリカや中東需要高く

「アフリカや中東の国々では今年も経済成長が続くだろう。これに伴い、日本車の需要も引き続き高そうだ。25年実績では、タンザニア(11万7489台)が前年比で約1.5倍に伸びた。同国はアフリカの内陸部に車を送る中継地点だ。周辺国のおお盛んな需要に支えられ、今年も躍進がつつとみられている。西アフリカ向けの輸出も伸びそうだ。昨年、自家用車の輸入禁止が解かれたスリランカも安定した需要が見込める」

JUMVEA logo and text: 経済産業省認可組合 日本中古車輸出業協同組合 (JUMVEA)

中古車輸出組合への参加をお待ちします



中古車輸出の実績を確実に積み重ね海外から高く信頼されている日本中古車輸出業協同組合(JUMVEA)は、中古車輸出の健全化とビジネス拡大に向けて取り組みます。